

業種ではなく 自分の興味に照らして選択

メディア業界を志す学生は早くから万全な対策を講じるのが王道のようですが、私の場合はいたってシンプルで、高校時代に見学した当局のイベントが楽しく、自分もその仕事に携わりたいと思ったのがきっかけです。ですから二次面接のグループディスカッションでは気の利いた発言はほとんどできずじまい。しかし早期の離職を懸念する採用担当者から、4年間を通して同じ職場でアルバイトを続けたことを高く評価していただきました。

イメチェンで気分丸ごとリフレッシュ!

就活は悪戦苦闘の連続でした。そんな折、私は髪を切りスタイルを一新、するとその日を境に状況は好転したのです。ちょっとした工夫で風向きが変わることもあるのでスランプと感じた時は思い切って色々なことを試してみてください。

多様なプログラムを通して 経験を豊かに

ゼミでも部活でも学外活動でも、継続して取り組めるものを一つみつけることで自分自身が形成され、それが最大のアピールポイントになります。文学部では充実の海外プログラムにより語学力が磨かれるのはもちろん、さまざまな経験を積むことができ、それがエントリーシートや採用試験にも反映されます。また、キャリアセンターが主催する企業説明会や交流会は、企業の方に気軽に質問できる絶好の機会として大変参考になりました。

私の就活体験記

継続して取り組めるものを

一つみつけることで自信が生まれ

それが最強の自己PRになります

青井 佐保

フランス語文学文化専攻 4年 桜花学園高等学校(愛知県)出身
内定先: 日本放送協会(NHK)